

安全報告書

2021 年度



横浜高速鉄道株式会社

ごあいさつ

平素より横浜高速鉄道みなとみらい線をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

横浜高速鉄道では、運行の基本である「安全の確保」は、すべてに優先される最も重要な責務であると考え、安全を最優先とする企業風土の定着に社員一丸となって取り組んでおります。

本報告書は、2021年度の当社における輸送の安全の確保に関する取り組みや、鉄道運転事故等の発生状況と再発防止対策などを報告するものです。

みなとみらい線ではお客様に安心してご利用いただけるよう、2021年度は指令機能を拡充するため、運行や電力を管理するシステムの更新を行い、事故や列車遅延等の発生時の対応力を強化しました。また、従来から整備を進めておりました可動式ホーム柵につきまして、新たに新高島駅の整備を実施し、これにより、みなとみらい線全駅への整備が完了いたしました。

その他、異常時における対応力向上のための取り組みとして、全社員を対象とした異常時総合訓練では、列車内における粗暴行為や列車火災の発生、大規模地震の発生を想定し、非常用ドアコックや消火器など非常用設備の操作訓練や列車からの直接降車訓練、避難誘導訓練などを実施しました。また、運転指令員を対象とした列車一斉停止訓練や運行管理装置故障に関するシミュレーター訓練、駅係員を対象とした転てつ器の手回し訓練などを行いました。

こうした訓練等を通して、事故・災害に対し社員一人ひとりが迅速かつ的確な初期対応を行い、お客様の安全確保が図れるよう、さらなる安全管理体制の構築に努めてまいります。

この安全報告書は、鉄道事業法第19条の4に基づき、当社における安全の確保に向けた取り組みを皆様に広くご理解いただくために作成いたしました。

是非ご一読いただき、ご意見ご感想をお聞かせいただければ幸いです。

2022年6月



横浜高速鉄道株式会社

代表取締役社長 森 秀毅

目次

● 会社概要	1
● 安全に関する基本方針	2
● 安全管理体制	4
● 安全確保の取組み	6
● 新型コロナウイルス感染症対策	11
● 障害・事故	13
● 安全対策	14
● 営業路線図	16

会社概要

- 名称

横浜高速鉄道株式会社

- 所在地

神奈川県横浜市中区元町一丁目11番地

- 設立

1989年3月29日

- 事業内容

1. 鉄道事業

(みなとみらい21線：第一種鉄道事業者、こどもの国線：第三種鉄道事業者)

2. 鉄道施設内における日用雑貨・飲食物等の販売、飲食業、広告業および旅行業等のサービス事業

3. 不動産の売買、管理および賃貸

4. 前各号に付帯関連する一切の業務

- 経営理念

- 一 私たちは、公共交通機関としての使命を深く自覚し、運行の基本である安全を最優先し、快適で利便性の高いサービスを提供します。
- 二 私たちは、鉄道事業を通して横浜都心部の活性化や沿線の集客を図るとともに、首都圏の広域的な交通ネットワークの一翼を担います。
- 三 私たちは、健全で安定した鉄道経営を目指します。

安全に関する基本方針

当社では輸送の安全を確保するため、「安全方針」を定め、全社員に周知・徹底を図っております。

●安全方針

1. 常に安全を最優先とし、人命を第一に行動します。
2. 法令・規程等を遵守し、厳正に職務を遂行します。
3. 思い込みや憶測に頼らず、迅速かつ正確に対処します。
4. 気づき合う職場環境をつくるため、コミュニケーションを大切にします。
5. 問題意識を高く持ち、安全マネジメント態勢の継続的改善に取り組みます。

●社員行動規範

1. 企業の社会的使命を認識し、各種法令、規範を遵守し、公正な事業活動につとめます。
2. お客様に安心して、気持ちよくご利用いただける鉄道を目指すため、まず、お客様の視点に立って考えます。
3. 経営情報などの情報を適時、適切に開示します。
4. 事業活動で取得した情報を大切に扱い、社内規定に基づき管理を徹底します。退職後も秘密を保持します。
5. ひとたび事故が起これば、お客様の人命に関わる事業であることを認識し、安全マネジメント体制を確立するとともに、危機意識を持って事に当ります。
6. 環境に配慮した事業活動を行い、環境への負荷を減らし、資源を有効に活用する努力をします。
7. 人権意識を高め、あらゆる差別を廃し、個人を尊重します。
8. 社会的秩序に反する勢力に対しては毅然とした態度で臨みます。
9. セクシュアルハラスメント等差別のない、個人を尊重する働きやすい環境を創ります。
10. 会社は自己実現の場である事を認識し、自ら考え、失敗を恐れず挑戦し、自分の持てる能力を十二分に発揮します。チームとしての力が最大となるよう、和を大切に、誠実に行動します。

●安全重点施策

全社的な安全対策の深度化と安全意識の底上げ

運行支障、施設障害や風水害発生時の連絡、体制、対応の強化を全社的に実施し、安全対策の深度化と個人意識の底上げを図ります。

【キーワード】

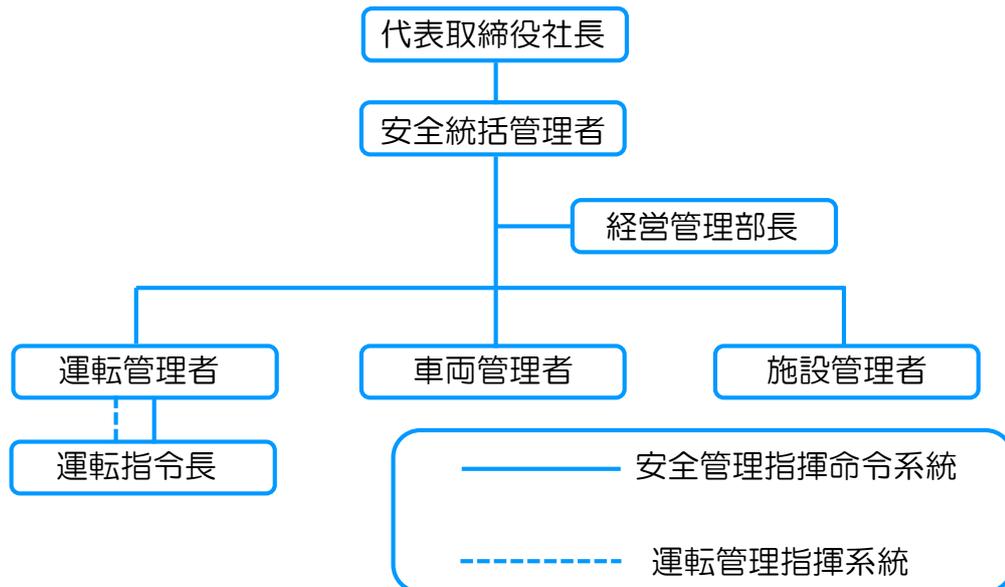
「全社的な安全対策の強化」

- 安全に係る規程類が現状と乖離の有無について、検証し整備を行う
- 2020 オリンピック・パラリンピックを見据えたテロ対策等の訓練実施および異常時総合訓練実施による社員一人ひとりの危機管理意識と自発的な行動力向上を図り、全課で連携する情報伝達訓練を策定し、実施する
- 新型コロナウイルス感染症の対策を継続的に取り組む

安全管理体制

代表取締役社長を最高責任者として、安全統括管理者をはじめとする各管理者の責務を明確にして安全管理体制を構築し、運輸安全マネジメント態勢の継続と改善に取り組んでいます。

●安全管理体制図



●各責任者の責務

代表取締役社長：輸送の安全の確保に関する全ての責任を負う。

安全統括管理者：輸送の安全の確保に関する業務を統括する。

経営管理部長：輸送の安全確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

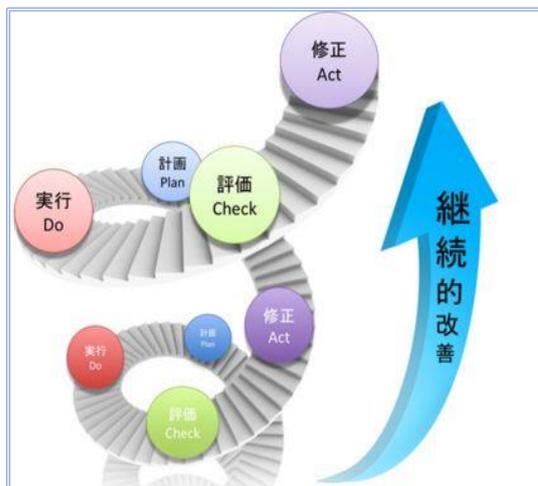
運転管理者：運転に関する事項を統括する。

車両管理者：車両に関する事項を統括する。

施設管理者：鉄道施設に関する事項を統括する。

● 運輸安全マネジメント態勢の継続と改善

安全管理体制のPDCA サイクル



◆ 安全推進会議

安全統括管理者を議長に、経営管理部門、運輸部門の部長、課長および係長がメンバーとなり毎月開催しています。事故・障害の情報共有と原因究明・対策の検討等、安全に関する事項について審議しています。

◆ 運輸安全マネジメント内部監査

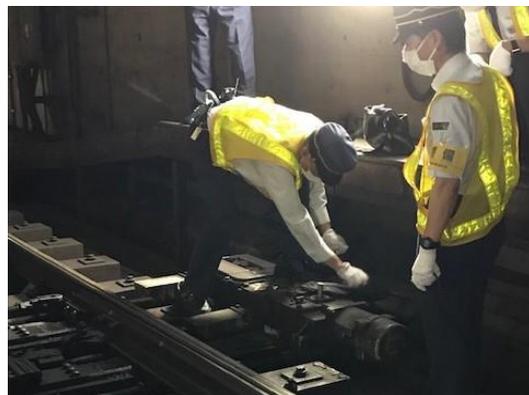
監査員は内部監査研修修了者と同等の能力を有する者の中より、安全統括管理者が指名した者で構成し、経営トップ・安全統括管理者・経営管理部長へのインタビューと運輸部門への監査を実施しています。

安全確保の取組み

● 駅異常時対応訓練

2021年7月15日（木）に、元町・中華街駅において保安装置故障を想定した転てつ器手回し訓練を実施し緊急時の対応方法を再確認しました。

今後も継続して教育・訓練を実施し、駅係員の異常時対応を含めた対応方法の習熟を図ります。



転てつ器手回し訓練

● 安全統括管理者講話・運転管理者講話

2021年7月19日（月）～7月21日（水）に、全社員を対象に運輸安全マネジメント制度の概要説明、安全統括管理者講話および事故事例紹介を通して鉄道と安全の関わりについて意識付けを行いました。また、過去のテロ事例を振り返り、不審物発見時の初期対応や不審物・不審者（兆し）の発見について学び、過去の事故事例からは、安全方針に沿った行動の重要性を再確認し、安全意識の向上に努めました。

当社の安全管理体制は、全社員が理解して行動するべきものであるため、今後も継続して実施します。



安全統括管理者講話

● 他社施設見学

2021年10月28日（木）、29日（金）に、他社事例を学ぶ取組みとして、東武鉄道 能力開発センターの見学を実施しました。鉄道事故に関するパネル展示を見学し事故の恐ろしさを体感することで、鉄道事業者として「安全・安定輸送を担う」自覚と安全への意識向上を図りました。

今後も継続して他社見学等を通じ、安全意識の高揚を図ります。



安全施設見学

●列車一斉停止訓練

2021年9月1日（水）「防災の日」に、地震発生を想定した列車一斉停止訓練および緊急情報の受発信訓練を行いました。またこれらの訓練を通して、地震発生時の指示方法や連絡通報方法について再確認しました。

今後も継続して訓練を実施し、運転指令員の異常時取扱いについて習熟を図ります。



列車一斉停止訓練

●運行管理装置故障時対応訓練

2022年3月29日（火）、3月30日（水）に、みなとみらい線の運行管理装置が災害や故障等で使用不能となった場合を想定し、運転指令員を対象としたシミュレーター訓練を実施しました。本訓練では、故障時における初期対応や運行の継続を目的としており、今後も知識、技能の習熟のために定期的に行います。



シミュレーター訓練の様子

●異常時総合訓練

2021年11月18日(木)に、重大事故や大規模災害等の発生時において人命を最優先とした基本行動がとれるよう、知識と技能の習得および危機管理能力の向上を目的とした訓練を実施しました。

この訓練では、駅係員、運転指令員および本社員が合同で、「走行中の列車内における粗暴行為の発生」、「列車火災の発生」、「大規模地震発生に伴う列車脱線事故の発生」といった想定で、車内非常用設備の操作や消火器による初期消火、直接降車およびお客様の避難誘導など、異常時における基本行動の確認を行うとともに、AED 取扱い訓練や列車防護訓練を行うことで、緊急事態発生時に重要となる初動や、その後にとるべき行動を共有しました。

今後も様々な想定で訓練を継続的に実施し、事故・災害発生時の知識・技能の向上を図ります。



粗暴行為発生現場からの避難



消火器使用訓練



直接降車訓練



列車防護訓練

●経営トップによる安全講話および現場巡視

2021年12月6日（月）～12月8日（水）に、全社員を対象に社長安全講話を実施しました。安全に係る5つの基本方針や自然災害等への備えについて学び、危機管理の基本的考えや日頃の対策訓練の大切さについて、経営トップの経験を交えた講話を通じて、更なる安全意識の向上に取組みました。

また、夏季および年末年始安全総点検期間中に、経営トップを含む幹部の下で自主点検を実施し、駅や運転指令所等の現業部門への巡視を通して、各部門の安全に対する取組み状況を確認しました。

今後も継続して実施し、安全意識の向上を図ります。



社長安全講話



社長巡視

●災害・事故対策本部設置訓練

2021年12月14日（火）に、大規模災害発生時における初動対応や災害事故対策本部設置までの流れ、対策本部の業務内容など再確認を行い、復旧体制を確実なものとするを目的に、災害・事故対策本部設置訓練を実施しました。



災害・事故対策本部設置訓練

●テロ対策訓練の実施

2022年1月20日（木）の終電後に、加賀町警察署と合同でテロ対策訓練を実施しました。訓練では、列車内における粗暴行為の発生を想定し、警察への110番通報やお客様の避難誘導など緊急事態発生時の初動行動および警察との連携を確認しました。

また、戸部警察署による駅施設等におけるテロ対策についての講義を、全社員向けに実施しました。講義では、テロ防止において注意すべき点、有効な設備や運用方法等を確認しました。



加賀町警察署とのテロ対策訓練



戸部警察署によるテロ対策講義

新型コロナウイルス感染症対策

「鉄軌道事業における新型コロナウイルス感染症対策に関するガイドライン」等を踏まえ、「密閉」・「密集」・「密接」対策の徹底などに取り組むとともに、鉄道の運行を継続的に確保するため、当社社員の健康維持と感染拡大防止に取り組みました。

【安全な鉄道の利用環境の整備】

● 車両換気の励行



● 車内混雑緩和、分散乗車を目的とした時差出勤やテレワーク実施の呼びかけ



● エスカレーターや階段の手すり、エレベーターボタン、券売機、改札機等、駅施設における定期消毒清掃の実施



● 車内の定期消毒清掃



● 券売機・精算機への整列ラインの設置



● つり革や手すり、座席、空調装置等への車内の抗ウイルス・抗菌コーティング加工の実施



● 全駅にアルコール消毒液の設置



● 券売機・精算機タッチパネルへの抗菌シートの貼付



【鉄道の運行を継続的に維持するための取組】

●健康管理の徹底



●マスクの着用や手洗い・うがい実施の徹底



●テレワークや、時差出勤の実施



●消毒液の携帯と活用



●駅改札窓口の飛沫飛散防止用のビニールシートやアクリルパネルの設置



●ビニールシートやアクリルパネルの無い箇所でのお客様対応時のフェイスガード使用



●不要・不急な出張の自粛、Web会議の実施



●ワクチンの職域接種の実施



障害・事故

●鉄道運転事故（列車脱線事故、鉄道人身障害事故等）

鉄道運転事故は発生しませんでした。

●輸送障害（鉄道に起因する30分以上の遅延や運休等）

1. 車両点検に伴う輸送障害

《発生日時》2021年11月10日（水） 16時13分

《発生場所》みなとみらい線 新高島駅

《概要》 列車に搭載された部品に一時的に不具合が生じ、出発時に起動ができなくなりました。乗車中のお客様に降車いただくとともに、復旧対応を行い、約49分後に運転を再開しました。

《対応》 不具合の原因となった部品を交換するとともに、当該部品の点検方法を見直しました。

●インシデント（事故の兆候）

インシデントは発生しませんでした。

安全対策

●可動式ホーム柵の整備

2021年11月6日（土）より、新高島駅の可動式ホーム柵の使用を開始し、みなとみらい線全駅の可動式ホーム柵の整備が完了しました。



新高島駅可動式ホーム柵

●運行管理システム・電力管理システムの更新

運行管理システム、電力管理システムの更新を行い、事故や列車遅延等の発生時の対応力を強化しました。



電力管理システム

●防護盾の配備

他社路線における列車内での殺傷事件（粗暴行為）の発生を受け、駅業務における改札業務中や構内巡回中などでの事象発生に備えるため、駅係員の身を守る防護装備品として防護盾を駅に配備しました。

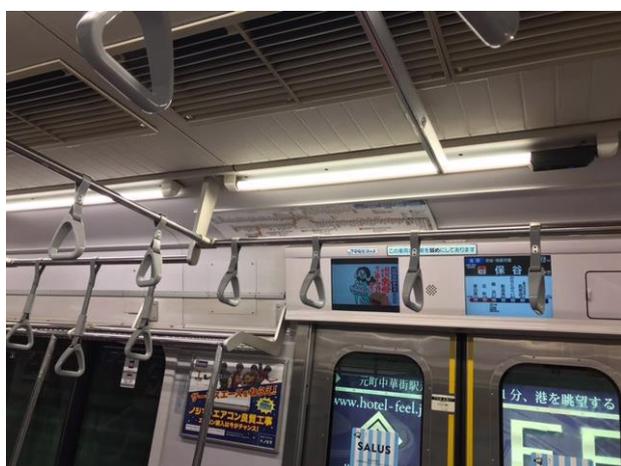
●ATC（自動列車制御装置）

みなとみらい線では、信号保安装置としてATCを採用しています。これは、列車が連続的に速度情報を受信し、走行速度が定められた速度を超えた場合には自動的にブレーキが作動するシステムです。

●Y500系車内防犯カメラ

車内の安全性に対する社会的ニーズが高まるなか、LED 蛍光灯一体型車内防犯カメラを1両あたり4箇所に設置しています。

これにより車内のセキュリティ向上および車内トラブル発生時の対応の迅速化を図っています。



車内防犯カメラ

●AED（自動体外式除細動器）の設置

みなとみらい線では、全駅にAEDを設置し、お客様の救急救命に備えています。



各駅のAED

本報告書に関するお客様のご意見をお寄せください。

「2021 年度 安全報告書」の内容や当社の安全への取組みについてのご意見・ご質問は「横浜高速鉄道お客様電話」または「横浜高速鉄道ホームページ」で承ります。

横浜高速鉄道お客様電話

TEL：045-664-0629

（受付時間：平日 AM9:00～PM5:30、土、日、祝日、年末年始（12/29～1/3）を除く）

横浜高速鉄道ホームページ

<http://www.mm21railway.co.jp>

※画面最下部「お問い合わせ」よりご意見をお寄せください。